

激特事業等の整備効果について

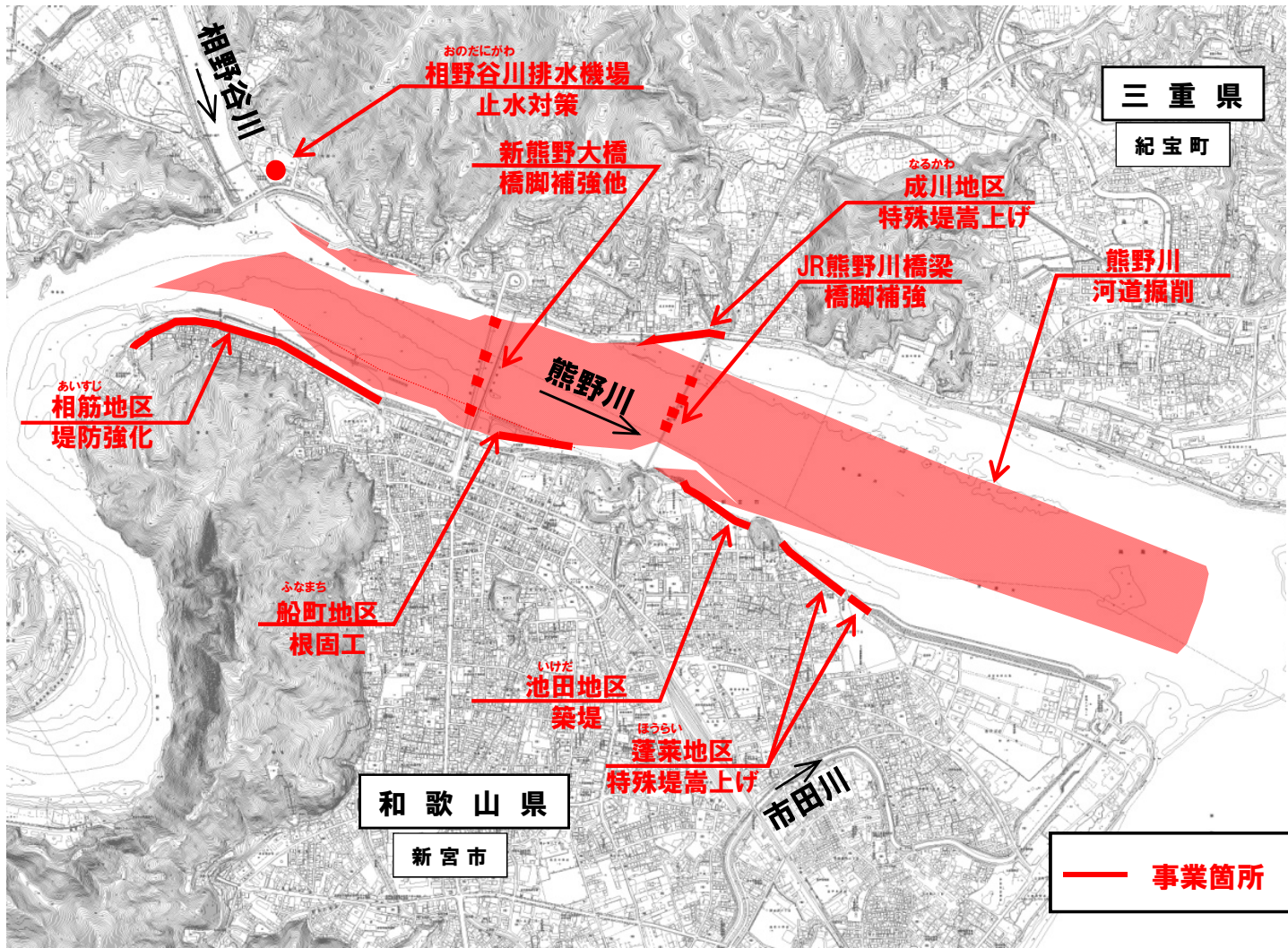
近畿地方整備局

紀南河川国道事務所

熊野川激甚災害対策特別緊急事業

【事業の目的】

現行の基本方針に基づき計画規模の洪水(19,000m³/s)を安全に流下させる河道を整備し、これにより台風12号洪水による堤防越水の解消を図るべく、現在事業を進めている。



成川地区における堤防越水による浸水

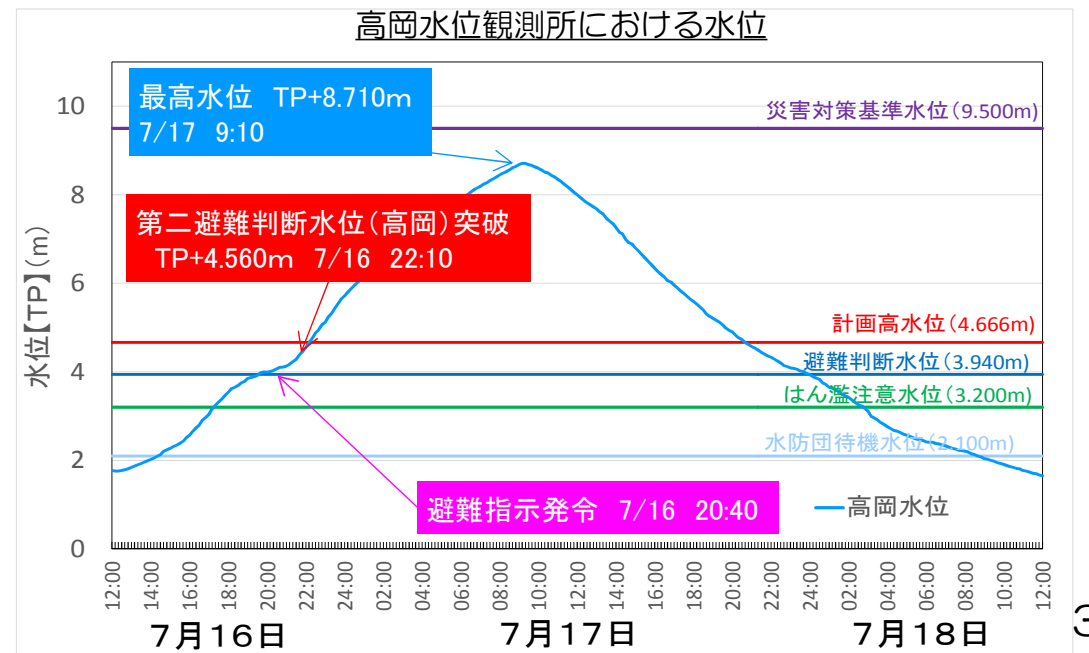
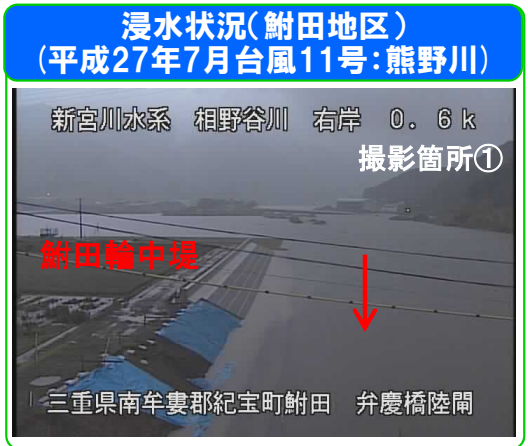
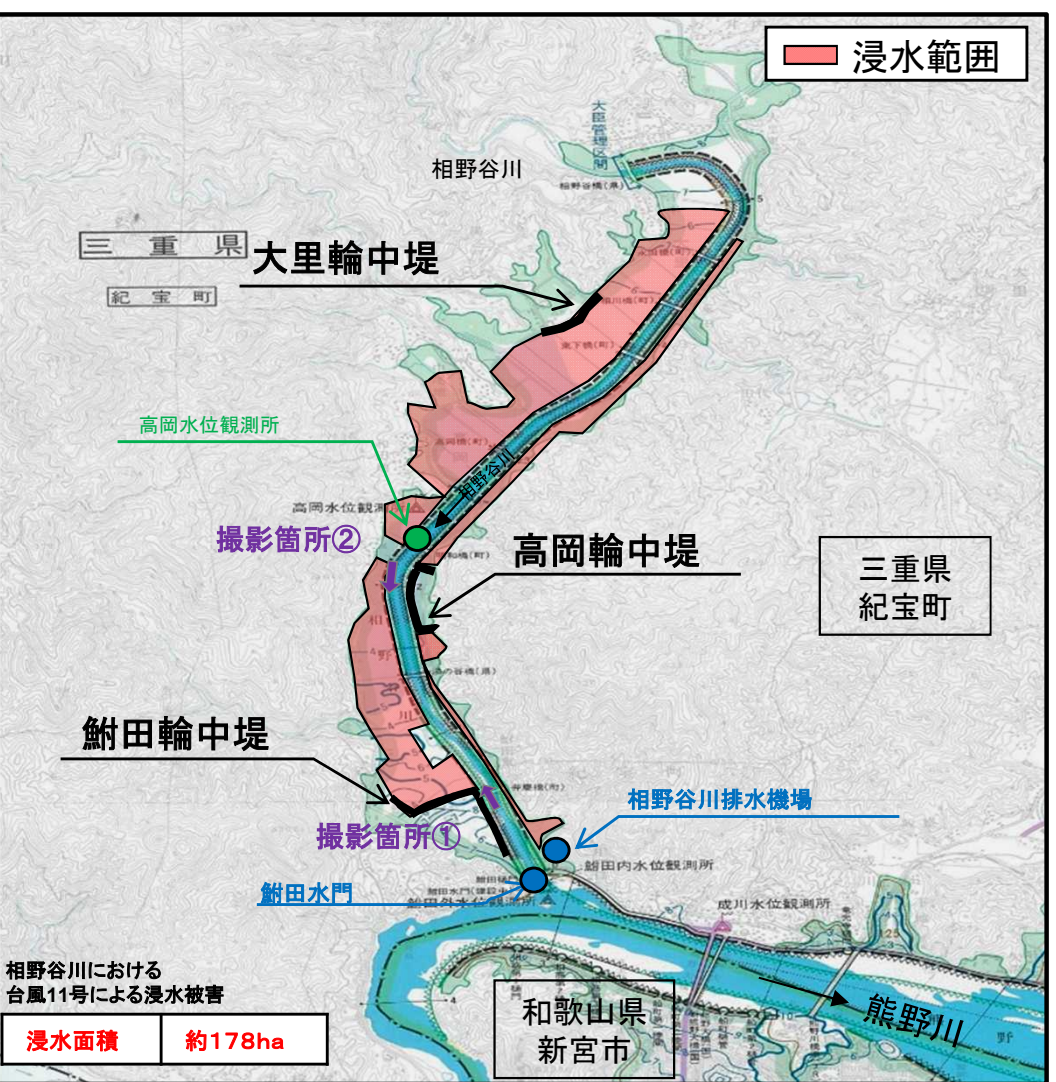
熊野川激特事業等工程

工事内容		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
激特事業	掘削工 根固め工含む						
	築堤工 堤防補強含む						
	排水機場耐水化						
	橋梁対策 JR熊野川橋梁 新熊野大橋の補強						
災害事業	河川管理施設復旧						
	熊野川護岸 等						
	相野谷川輪中堤嵩上げ 等						
改修事業	矢湫地区高潮堤						
	あけぼの地区高潮堤						
	水門・排水機場等耐震対策						
	光ファイバ・CCTV設置 (津波・浸水対策)						

平成27年台風11号に対して河川整備が効果を発揮

[出水の概要]

- 熊野川流域では、台風11号により、相野谷川沿川で田畑等約178haが浸水し、支川相野谷川の水位は、輪中堤（高岡地区）の上端から約80cm下がりのT.P+8.71mに達した。
- また、相野谷川沿川では、685世帯1,372名に避難指示が出された。

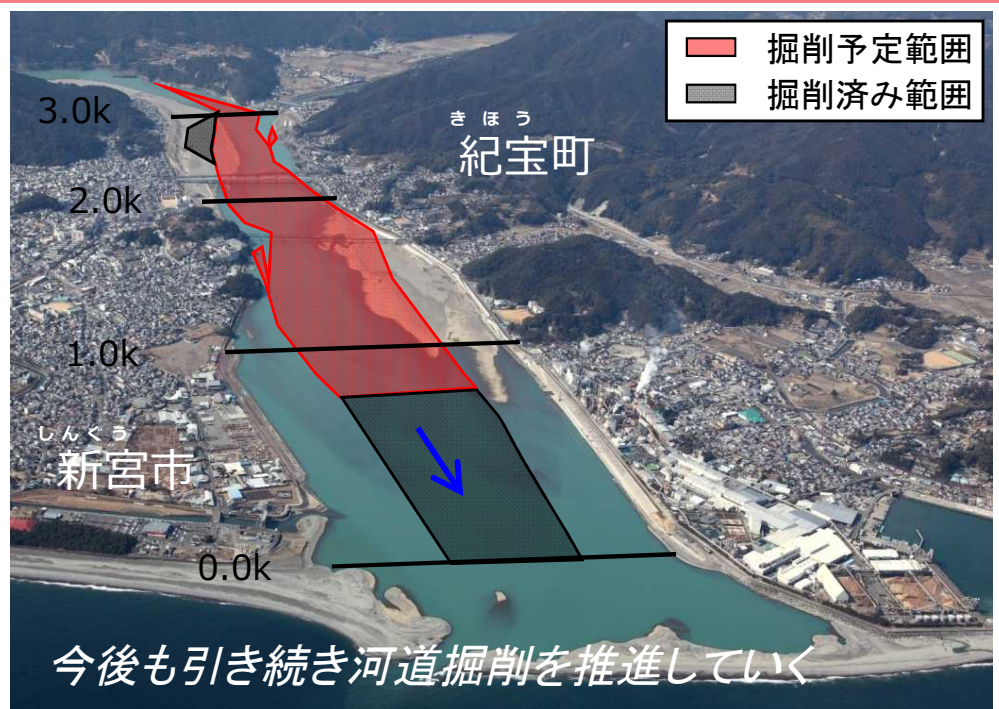


平成27年台風11号に対して河川整備が効果を発揮

[整備の効果]

- 熊野川本川では、平成23年台風12号を受けて、河道掘削約140万m³を実施。(平成26年度末時点)
- 今回、河道掘削による支川の水位低減効果(約1.2m低下)により、輪中堤からの越水を回避。
- また、河道掘削に加え、整備済みの3地区の輪中堤等により、家屋浸水を防止。

河道掘削状況



相野谷川 高岡地区(2.6k地点)

